

令和元年度 学校長挨拶

記念すべき令和元年に赴任して参りました、校長の堅島尚記です。よろしくお願いいたします。

熊本地震から3年。町全体は、まだ完全に復旧・復興したわけではありませんが、中学校においては、昨年度末に渡り廊下が完成し、今年度からは町内の給食センターから給食が提供されるようになりました。さらに、自転車置き場も新しくなり、地震関連の復旧工事はほぼ終了しました。生徒が快適な学校生活を送ることができる環境をつくっていただいたことに感謝申し上げます。

さて、今年度、本校では、「郷土を愛する」「当たり前感謝する」「夢に向かって日々努力する」ができる生徒を育てることを基盤として、日々の教育活動に努めています。震災前の生活で無駄にしたり浪費したりしていたことを改め、一つ一つのことに目的意識を持って一生懸命に取り組み、充実した生活を送ることで自分に自信を持ち、誇りや母校愛・郷土愛を育んでいきたいと思っています。

先日、昨年度より立ち上げた「学校運営協議会」の本年度第1回の協議会を開催しましたが、委員の方々から「木山中の生徒は、地域でもよくあいさつしてくれる」とのお褒めの言葉をいただきました。これまでの本校の教育活動が間違いなかったと確信するとともに、日頃から、保護者や地域の方々の見守りや支えがあるからこそ、生徒がこのように健全に育つことができているのだと感謝する次第です。

本校職員も精一杯取り組んで参りますので、今後も、これまで同様に暖かく見守っていただきますようお願い申し上げます。